

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月3日

団体名 岡崎市で発達障がい・不登校を支える会「ゆい」

代表者 森 誘子

構成員 20人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

発達障がい・不登校の親子が地域で孤立しないで、安心安全に生活できるように、情報とネットワークを提供する。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
2025、4.26	なごみん	地域で発達障がい	5	悩みをかかえた親子に寄り添い安心安全に話せる場と知識を提供しました。
5.31		不登校の悩みを	8	
6.28		かかえ不安な	6	
7.26		子育てをしている	6	
8.30		親子と支援者	3	
9.26			6	
10.25			3	
11.29			4	
12.20			2	
2026、1.31			7	
2.21			1	
2.22			35	
3.28			5	

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

毎年、不登校の児童生徒が増えています。不安をかかえて子育てをしている親親子に講演会、交流会に参加することで、孤立しないで地域で生活することができ、岡崎市に住んでいてよかったと思える様になります。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

発達障がい・不登校の悩みをかかえる親子と支援する人達に、講演会、交流会に参加して必要な知識とネットワークができて、孤立しないで地域で安心安全に生活できるようになりました。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。